

子どもナビゲーター取組内容 (中間報告)

長岡市教育委員会
子ども未来部・子ども家庭課

1

子どもの貧困対策の目標

～すべての子どもが大人になって社会で生活できる、社会に貢献できる～

現状・課題

☆平成29年度、総合教育会議及び「子どもの貧困対策についての検討」ワーキング部会の中で、「市の支援策は充実しているものの、経済的に困っている家庭がそれらの施策を知っていて活用されているかが疑問である」との意見があった。

☆各家庭の経済状況やそれに伴い困っている「子どもの貧困問題」については学校、保育園は直接的な家庭への踏み込みが難しく、支援機関につながらない場合が多い。(虐待等が絡むと問題が顕著になり、支援機関に繋がりがやすい)

施策の展開

☆子どもたちが生まれ育った環境によってその将来が左右されることなく、すべての子どもたちが未来に夢や希望を持てるよう支援体制を構築する。

長岡市では、多様な要因で困難を抱える家庭と施策をつなげるための専門員を配置することが早急に必要であると考え、平成30年度から子どもナビゲーターを配置。

…子どもナビゲーターの今後の展開(案)…

《第1段階》

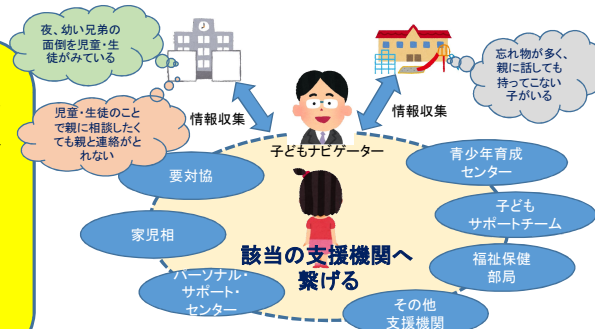
学校や保育園・幼稚園などから、「子どもの貧困」の視点での支援が必要な子ども(家庭)の情報を収集する。経済面だけでなく、親からの愛情や文化的経験の欠如が及ぼす影響による問題を見つけ出す。

《第2段階》

関係機関と情報を共有し、連携を強化することで、支援が必要な家庭を速やかに該当の支援機関につなげる。

《第3段階》

子どもナビゲーターの認知度をあげ、学校等が子どもの対応に困ったときの相談先として定着させる。



継続した関係部署・関係機関連携による支援体制を構築

2

1 取組の進捗状況

《第1段階》

・市内のすべての小・中・総合支援学校から、「**子どもの貧困**」の視点での支援が必要な子ども(家庭)の**情報を収集**

・市内のすべての小・中・総合支援学校を訪問し、「**子どもの貧困**」の視点での支援を行うことの重要性の理解と周知及び情報提供の依頼を行う。(4月～7月)→**集計一覧**

・報告のあったすべての小・中・総合支援学校を訪問し、「**子どもの貧困の情報**」の詳細確認、現状確認を行い、今後の支援追加の有無及び具体的支援内容について検討する。(9月～10月)→**具体的な子どもの貧困状況(例)** ³

2018/10/4

H30 子どもの貧困問題に係る調査**集計一覧**① (学校からの報告結果)

調査期間H30. 4. ～H30. 6.

校種	全学校数	報告有の学校数	%	報告件数の合計	件数／1か校	備考
小学校	55	27	49	123	2.2	・最大報告数13件(地域差大きい) ・1/2の学校から報告有
中学校	27	18	67	47	1.7	・最大報告数7件 ・2/3の学校から報告有
総合支援	2	2	100	19	9.5	・高等総合支援の報告が突出 ・支援体制の整備、拡充
合計	84	47	56	189	2.3	

4

学校から見える子どもの貧困状況(例)

①関係機関(児童相談所、要対協、少年サポートセンター等)からの支援が入っている事案で、子どもの貧困が高く疑われるケース

- ・虐待
- ・ネグレクト
- ・DV
- ・非行

などの問題が起こっており、その主たる原因として、
経済的課題があげられるケース

5

②家庭状況(給食費・諸校費の未納、保護者の健康状況、経済状況、家族関係、外国籍の保護者、ひとり親家庭等)で、子どもの貧困が高く疑われるケース

- 給食費・諸校費が未納、滞納が著しい。
- 保護者の疾患(精神疾患、主たる生計維持者の急病等)
- 保護者の経済状況(失業、不安定な労働等)
- 家族関係(夫婦仲の破綻、失踪や置き去り等)
- 外国籍の保護者(言葉、就労、家庭教育力の壁等)
- ひとり親家庭(就労、養育のための大人の力等)

6

③子ども(児童・生徒)の状況(服装・持ち物、衛生状態、朝食摂取状況、歯科等治療状況、登校状況)で、子どもの貧困が高く疑われるケース

- 季節外れの服をたびたび着衣している。
- 学習用具がそろわない。
- 体臭が大変気になる(入浴がなされていない)
- 朝食をはじめとする食生活が大変厳しい状況にある。
- 歯科等の治療勧告の放置、定期健診の未受診、予防接種の未実施。
- 学校に登校できていない。